

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

令和5年 7月 31日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)

京都府長岡京市東神足2-1-1

氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)

三菱ロジスネクスト株式会社

代表取締役 間野 裕一

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 } 第21条第1項
第22条第2項において準用する同条例第21条第1項
の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	三菱ロジスネクスト株式会社 代表取締役 間野 裕一
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	京都府長岡京市東神足2-1-1

1 事業所の概要

事業所の名称	三菱ロジスネクスト株式会社 安土工場					
事業所の所在地	近江八幡市安土町西老蘇8-1					
主たる事業	細分類番号	3	1	5	1	フォークリフトトラック・同部分品・附属品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	2021 年度 ~ 2023 年度
報告対象年度	2022 年度

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	環境投資	マスト工場シートシャッター更新(3.2t/年)	2021年11月実施
2	環境投資	事務棟2階LED化(9.8t/年)	2021年8月実施
3	環境投資	蒸気ボイラー更新(8.2t/年)	2021年8月実施
4	環境投資	事務棟3階LED化(10.4t/年)	2022年11月実施
5	環境投資	塗装ブースLED化(9.9t/年)	2023年2月実施
6	環境投資	装置工场上屋LED化(3.8t/年)	2023年2月実施
7	環境投資	マスト工場暖房機都市ガス化(23.6t/年)	2022年12月実施
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

売上高原単位で、2021年度比2%改善した。

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況
<p>1. フォークリフトおよび物流ソリューション商品の使用によるCO2削減貢献量の算出方法の標準を作成する。</p> <p>2. 対象開発車の製品環境アセスメント(目標値および評価結果を確認)。</p>	<p>1. 製品使用によるCO2削減貢献量算出方法や基準を定める。</p> <p>2. フォークリフト及び物流ソリューション商品開発車の製品使用によるCO2削減貢献量を算出する。</p>

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

製品使用によるCO2削減貢献量を算出するにあたり、対象となる開発車を選定し、それぞれの開発車の各進捗段階で設定された目標値、評価結果の確認を実施した。

--

(第3面)

3 その他の低炭素社会づくりに向けた取組の実施状況等

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	取組の実施状況等
1	産業廃棄物の減量化	2023年度の廃棄物排出量原単位を2020年度比で1%改善。	2022年度実績で2020年度比77.0%増加。
2	VOCの減量化	2023年度のVOC排出量原単位は、2020年度実績を上回らない。	2022年度実績で2020年度比8.8%増加。
3	環境啓発活動	環境啓発活動を積極的に行う。	ごみゼロ運動(工場周辺ごみ拾い)、四半期毎の公害防止パトロールを実施。
4			
5			
6			
7			
8			